

スラット性能

省エネ

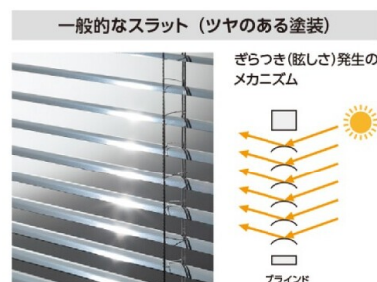
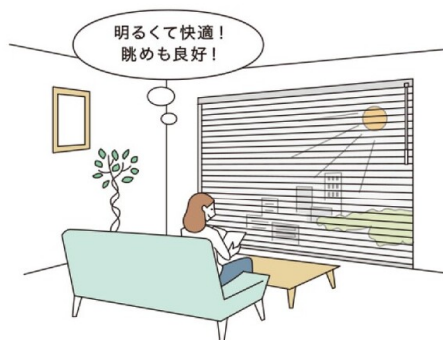
グロスレス遮熱

日射反射を高め、室内温度の上昇を抑えるとともに、強い日射しを拡散反射することで眩しさを抑えたスラットです。

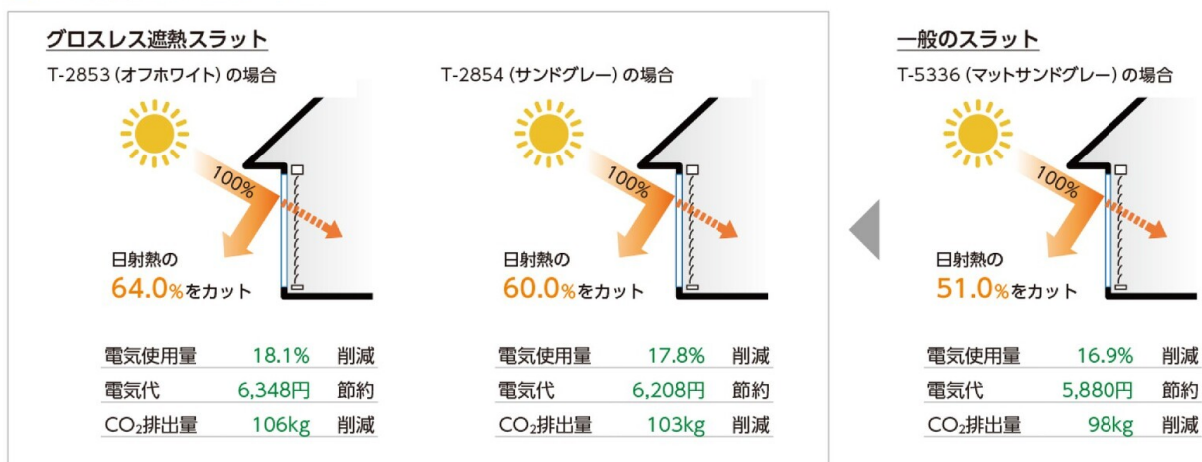
「不快に感じる眩しさ・太陽の日射熱」を抑制し、「心地よい明るさ・眺望」を両立。室内を快適な環境に整えます。

■ 眩しさを感じるグロス(ツヤ・光沢)をなくした「グロスレス遮熱」

スラット表面に細かな凹凸を形成する塗料により、スラット表面のグロス(ツヤ・光沢)をなくし、眩しさを感じる強い反射・ざらつきを抑制します。光を拡散して室内に取り込み、心地よい明るさの室内環境を実現します。



■ 省エネ効果のシミュレーション



上記は、「住宅」にシルキー RDSを取付けた時の夏季4ヵ月(6月~9月)の省エネシミュレーションです。
※「ガラスのみ」との比較です。シミュレーション条件については、223ページを参照してください。

「グロスレス遮熱」と一般的なスラットの比較

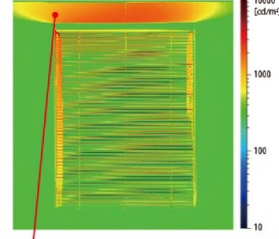
グロスレス遮熱スラット

スラットに強い光源が当たっても、拡散反射させることで、眩しさを感じにくくします。心地良い明るさを室内に採り入れることができます。

スラット水平時の見え方

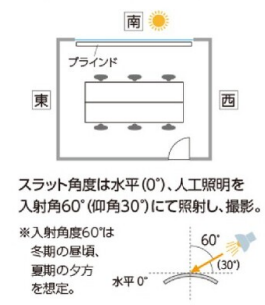


輝度分布測定結果



天井は、広く均等に明るくなります。

シミュレーションの想定シーン



スラット角度は水平(0°)、人工照明を入射角60°(仰角30°)にて照射し、撮影。

※入射角度60°は 冬の昼頃、夏の夕方を想定。

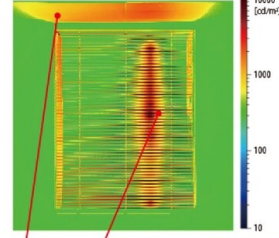
一般的なスラット (マット塗装)

マット感のある塗装により、スラットの表面で太陽光が多少拡散され、ざらつきを軽減します。ただし、光源の強さや角度により、強い反射が生じることがあります。

スラット水平時の見え方



輝度分布測定結果



天井の明るさに偏りがあります。部分的に反射が確認できます。

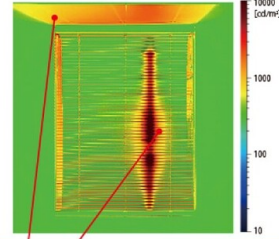
一般的なスラット (ツヤのある塗装)

太陽の位置とスラット角度の関係によって、光沢のあるスラット1枚1枚に強い光源が連続して映り込み、帯状に強い反射が生じます。

スラット水平時の見え方



輝度分布測定結果



天井の明るさに偏りがあります。ざらつきや強い反射が確認できます。

可視光線正反射率 (入射角度別)

